



イノベーション創出を促す
オフィスの

新しいカタチ



オフィスで“選ばれる”会社に

メディア総研

採用支援事業などを展開するメディア総研(株)が、入居する「肥後天神宝ビル」(福岡市中央区大名2丁目)別階にリフレッシュスペースを充実させた新オフィスを増設した。

アメリカンバーのイメージにリノベーションし、ソファやダイツを設置した空間はアメリカ産の杉を使用した壁で温かみを演出。バーカウンターでは田中浩二社長がコーヒーをふるまう時間も。また、フリーアドレスで業務できるデスクやWeb会議にも対応した大型モニター、個室スペースを設置し、自由な業務環境を整えた。

田中社長は「コロナ禍でリモートワークなど多様な働き方が広がる中で、就職活動をする学生にとって職場環境は変わらず重要なカギを握るポイント」と話す。退去時の原状復帰が不要な物件であれば、リノベーションをすることで採用活動の武器となり、また不動産オーナーにとってもプラスとなる場合もある。新しい時代を選ばれるオフィスが、企業の未来を創る。

デジタル化、コロナ禍による在宅ワークの併用などオフィスを取り巻く環境の多様化が進む。自由に働く場所や時間を選べる「アクティビティ・ベースド・ワーキング(ABW)」や、戦略的にオフィスを縮小してビジネスや業務の実態に合わせて経営資源を最適化する「ライトサイジングオフィス」。一方、今ある社内環境を充実させ、社員のモチベーション向上に繋げる出社型企業など、企業によって方針はさまざま。時代に対応した新しいオフィスの在り方を考えるヒントを見つけたい。